

【クリニカルクエスチョンの設定】

CQ番号	CQ-C5			
CQ	気管挿管された重症の小児ARDS患者にECMOを行うか？			
重要臨床課題 (Key clinical issues)				
重症の小児ARDS患者にECMOを導入することで、低酸素血症や高二酸化炭素血症の改善、人工呼吸器関連肺損傷の軽減による予後の改善が期待される。一方で、ECMOには出血、脳卒中、下肢の虚血といった重篤な合併症や、多くの医療資源を必要とするという問題点がある。そのため、重症ARDS小児にECMO導入を行うかは重要臨床課題である。				
CQの構成要素				
研究デザイン				
ランダム化比較試験のみ				
P (Patients, Problem, Population)				
年齢	小児 (論文の定義に準じる、明記されていない場合は20歳以下)			
疾患・病態	重症ARDS			
診断基準	Berlin, AECC, PALICC定義のいずれか			
組入れ基準	気管挿管された重症小児ARDS患者で通常の人工呼吸管理に抵抗性の低酸素血症または高二酸化炭素血症のある患者			
その他 (除外基準など)	未熟性および先天奇形に直接関連する出生直後の急性肺障害を対象とした研究			
I (Interventions)				
ECMO導入による管理*				
(*VA-ECMO、VV-ECMOおよびVAV-ECMO、VVA-ECMOも含む)				
除外基準				
ECCO2R				
C (Comparisons, Controls, Comparators)				
通常の人工呼吸管理による管理				
除外基準				
O (Outcomes) のリスト				
	Outcomeの内容	益か害か	重要度	採用可否
O ₁	死亡	益	9点	○
O ₂	神経学的予後	益	8点	○
O ₃	非人工呼吸器期間	益	7点	○
O ₄	在院日数	益	7点	○
O ₅	脳卒中	害	8点	○
O ₆	下肢の虚血性合併症	害	8点	○
O ₇	輸血を要する出血性合併症	害	7点	○

O ₈	ICU滞在日数	益	6点	×
システマティックレビューを行うか？（行わない場合はその根拠を記載する）				
行う				
サブグループ解析を行うか？				
行わない				
ガイドラインパネル（委員会）の決定事項				
<p>CQの冒頭に「気管挿管された」を加えることにした。</p> <p>アウトカム：</p> <ul style="list-style-type: none"> - 下肢の虚血性合併症を8点にするか7点にするか意見が分かれたが、結果8点のままとした。 - 死亡は一つのアウトカムとしてまず計算し、そのうえで長期、短期の生存も検討して、どのように生存に関するデータを収集・統合するかについて、SR班からパネルへ提示する。 - 発達予後は、神経学的予後に変更する。 <p>「特殊な病態（例、血液腫瘍疾患での骨髄移植後）については別に検討が必要と感じています。」→解説内で言及する。</p>				